

センター通信

2020年6、7月〔第256号〕

Create(創造), Challenge(挑戦), Collaborate(協働)を大切に

発行所 社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会

広島市就労支援センター

TEL (082) 537-1331

FAX (082) 537-1332

E-mail: si-jusan@gaea.ocn.ne.jp

http://h-shisyurou.jp/

例年6、7月号では、フラワーフェスティバルの様子を報告していたのですが、そのFFは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため開催できませんでした。そこで、今回は、そのフラワーフェスティバルを敢えて取り上げ、以前の様子を良くご存知の皆様へ原稿を寄せて頂きました。活気あふれるFFの様子を思い出し、FFへの想いを馳せ、来年度にむけての機運を盛り上げられたらと思います。

フラワーフェスティバルを振り返って

～来年はまた楽しいフラワーフェスティバルが復活することを祈念して～



今年は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐためにフラワーフェスティバルが中止となりました。市民と障害のある方の交流の場であり、作業所自主製品の大きな売上を期待していた方や楽しい企画への参加を楽しみにされていた方、その他たくさんの方がフラワーフェスティバル中止に残念な思いを持たれたことと思います。報道等でもあるように広島経済にも大きな痛手となり、作業所利用者の給料も減ってしまったということも聞きます。日常生活でも大きな影響を受けていますが、まずは命と生活を守るために引き続き気を付けていきましょう。

みなさんご存じのように、フラワーフェスティバルは1975年広島東洋カープが初優勝した優勝パレードがきっかけで、1977年から昨年まで43回中断することなく開催されてきました。

「ふれあいの広場」は、1981年の国際障害者年から昨年までの39回開催してきました。私は、広島市授産事業振興センター（市就労の旧称）の副運営委員長として1989年から実行委員会に参加させていただき、広場責任者としてどうしたらお客さんに「ふれあいの広場」に来てもらえるかと、綿菓子やヨーヨー釣り、腕相撲大会、ストラックアウト、お餅つき等いろいろな企画を担当者と一緒に行ってきました。お陰で綿菓子づくりやヨーヨーづくりはプロ並みになったと自負しています。ステージは、障害のある方の発表の場として位置づき、障害のある方の文化の広がりを作ることができたと思います。また、マーガレットコンサートの開催のきっかけともなりました。パレード参加も楽しみにされている方が多く、華やかさがないと酷評されたこともありましたが、審査員特別賞をとった時の喜びは格別でした。

「ゴールデンウィークは、フラワーフェスティバル」が当たり前になっていた私ですが、昨年は足のケガで皆勤賞が途切れ、今年は断捨離のための部屋掃除にいそしみました。

来年はまた楽しいフラワーフェスティバル(ふれあいの広場)が復活することを祈っています。

(もみじ福祉会 理事長 井上一成)



思い出のフラワーフェスティバル

「ゴールデンウィークが無いなんて・・・」私が最初に勤めた作業所は、「ふれあいの広場」に参加していませんでした。参加している作業所の人たちの「ゴールデンウィークなんて私たちには無いよ。」というつぶやきに「ゴールデンウィークが無いなんて信じられんなぁ〜。」と人ごとのように思っていました。しかし、気がつくと毎年、ゴールデンウィークにはふれあいの広場にいました。



私が最初に参加した十数年前は、ブースで売れるものは何か？ということが明確ではなく、私も子どもくじをしたことがあります。しかし、実行委員会や参加作業所のみなさんとの検討の結果、「ふれあいの広場」の「障害のある人たちと市民の交流の機会」という目的を明確にし、「自主製品のみ販売」ということがみんなの共通認識となってもうずいぶん経ちます。

私が参加してからの十数年の間に、実行委員会で開催経費を捻出するためにお好み焼きを作業所関係者有志で作って販売したり、ボランティアさんが中心でおこなっていた「もちつき」が食品衛生の問題でなくなったり、お茶席がカフェになったりと、変わっていないようであらためて振り返ってみると、時とともに変化していることに小さな驚きがあります。

残念ながら今年は中止となってしまいましたが、中止になった今だからこそ、これまで参加したことのある人、それぞれがフラワーフェスティバルの思い出をたどってみてもいいかもしれませんね。
(作業所わくわく 所長 伊藤 修司)

内職・下請け紹介

これまでセンター通信では、イベントの様子を紹介してきましたが、今年度は、そのイベントが中止になったため、今回から、各事業所の「内職・下請け紹介コーナー」を設けることにしました。この内職・下請け情報が、それぞれの事業所の営業活動の参考になればと思います。

(株)ヤマサキの下請け

作業内容 (ヘアエッセンスのサンプルを台紙に貼付)

市就労が取り纏めをしている内職・下請けで最も大きな発注をいただいているのが(株)ヤマサキです。10年以上の取引が続いていますが、ヤマサキからの年間の総受注量は常に600万枚前後となっています。この内職に参加している事業所は現在27事業所(内直接納品している事業所5事業所)ありますが、その中から、今回「セルフ宇品」さんに、この内職への思いや作業の様子を紹介して頂きました。

【私たちの大切な内職・ヘアエッセンスのサンプル貼り】



ヘアエッセンスの作業は多い時に週2万枚納品しており、セルフ宇品の軽作業部門では主力の作業です。台紙を数える、両面シールを貼る、サンプルを貼る、箱にシールを貼る、仕切りを折る等作業工程がたくさんあり、サンプルを貼る工程では、台紙の目印の線に合わせてズレなく貼る力が求められるので、細かい作業が得意な方に携わって頂き、数を数えることが得意な方には、正確に台紙やサンプルの枚数を数えて頂く等、利用者様それぞれの特性に合った工程に携わって頂いています。

10年以上長い間携わっている仕事なので、納品して次の資材を持って帰ると、「おかえりなさい。次は何枚ですか？同じ台紙ですか？」と質問される方もおられ、責任感を持って仕事をしておられると感じています。今後も頂いた仕事を真摯に取り組み皆で協力して頑張っていきます。

(セルフ宇品 正木 祥太)

広洋産業株式会社の請負作業

作業内容 (ウエスの検品と束ねる作業)

(社福) 安芸の郷 森の工房あやめ 大場孝修

このウエス作業は、約15年前に広島県就労支援センターの紹介で始めることとなりました。作業手順としては、クリーニングしたウエスを広げ、金属片やゴミがついていないかをチェックし、10枚でたたみ・100枚の束を作って結束する作業です。

実習生や新規利用者の作業導入として大きな役割を担っていると同時に、周りの方と連携したり・声を掛け合ったりする作業と違い、一人でもくもくとできるため、朴訥な方や、人と話すことが苦手な方にはうってつけの作業です。

リーマンショックの時には2ケースとかなり減った時もありましたが、企業と協議をしながら続けることが出来ました。現在は10ケース行っています。

一日に納品する枚数は、4000枚～5000枚の間で、毎日南区東雲の工場に運んでいます。車に乗って行くため、利用者の気分転換にも一役買っています。

今後も企業と協力しながらクレームゼロを念頭に続けていきます。



令和2年度 第1回広島市就労支援センター運営協議会の報告

5月11日(月)に、運営協議会第1回定例会を開催する予定でしたが、全国緊急事態宣言発令中であったため、協議会を中止し、運営協議会委員の皆様による文書での確認・承認という形にさせていただきました。

確認・承認事項は、

①令和2年度運営協議委員について ②運営協議会委員長及び副委員長の承認について ③運営協議会部会長の承認について ④令和元年度 事業報告書について ⑤令和元年度収支決算書について ⑥令和元年度費用対効果とその分析について の6項目でしたが、全ての運営協議会委員の皆様から、確認・承認をいただきましたので、ここに報告させていただきます。

昨年度の費用対効果では、一昨年度に比べ約7.5%（約207万円）の減収となりました。その主な要因は、①市就労が取り纏めをしている「下請け・内職」で、企業からの発注が減少したこと②安佐北区役所等への出店販売事業所が減り、出店回数も少なくなった上、年度末の新型コロナウイルス感染防止のため出店が中止になるなどして「官公需」の売上が減少したことがあります。一方、店頭委託販売は、昨年度を3.5%上回りました。これは、外国人観光客の増加で、平和関連グッズ（平和の子の像、おりづる風鈴等）の売上が伸びたことと、神田山荘の宿泊者にプレゼントする「ありがとうクッキー」の注文が新しく入ったことが要因として挙げられます。しかし、これらも年度末からの「新型コロナウイルス感染拡大」の影響を受けており、今年度は、大変厳しい状況となっています。一日も早い終息と、もとの生活に戻ることを願うばかりです。

広島市役所 1 階ロビー、安佐北区(区役所、総合福祉センター) 出店販売

火曜日は広島市役所・安佐北区役所等で出店販売してます！！

5月は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため販売が中止になりました。緊急事態宣言全面解除を受けて、6月からは通常通りに販売を開始します。6月、7月の出店販売日は下記のとおりです。パン、クッキー等の食品を中心に販売しています。販売時間は12:00~13:00です。

広島市役所 1 階ロビー（東側）				
出店販売日	事業所（1）	事業所（2）	事業所（3）	
6月	2日	SOAR きつつき	すまいるスタジオ	ピース・ドリーム作業所
	9日	レインボー	安芸の郷	なないろ作業所
	16日	WIND えのみや	いしうちベーカリー	あいらぶ作業所
	23日	広島市皆賀園	おりづる作業所	つくしんぼ作業所
	30日	レインボー	アイサンサン作業所	みのり作業所
7月	7日	レインボー	ワークハウススマイル	ピース・ドリーム作業所
	14日	SOAR きつつき	WIND えのみや	安芸の郷
	21日	もみじ作業所	いしうちベーカリー	HAP-B
	28日	レインボー	つくしんぼ作業所	みのり作業所

出店販売日	安佐北区役所 1 階ロビー	安佐北区総合福祉センター 2 階
6月	9日	つくし工房 龍馬ファーム
	23日	龍馬ファーム 可部つちくれの家
7月	14日	— 龍馬ファーム
	28日	龍馬ファーム 可部つちくれの家

市就労新職員紹介

この度4月30日（木）をもって、上永 美紀が退職し、5月1日（金）より、新しく 高西 真紀（たかにし まき）が着任しています。主な担当は、生協です。引き続きよろしくお願い致します。

